

令和7年11月19日(水)
郡山市倫理法人会様

選ばれるまち こおりやま

～持続可能な郡山の未来に向けて～

郡山市長 椎根 健雄

自己紹介

Personal Information



第15代
郡山市長 しいね 椎根 たけお 健雄

郡山市立大島小学校 卒業
郡山市立郡山第五中学校 卒業
福島県立安積高等学校 卒業（108期）
新潟大学農学部 卒業

高校時代は、将棋部に所属していました。
ジツと我慢の受けの戦型が得意です。
大学時代は、大豆の研究をしていました。
早朝3時から開花状況観察に通い続けたことも…

昭和52年1月20日生まれ（48歳）
郡山市日和田町在住

一つ一つのことを突き詰める粘り強さを養う

自己紹介（政治の世界へ）

大学卒業後地元へ帰省
青年会議所や商工会で多くの同世代の若者に関わる

（平成23年3月11日 東日本大震災発災）

平成23年11月 福島県議会議員（1期）

平成27年11月 福島県議会議員（2期）

（令和元年10月 東日本台風発災）

令和元年11月 福島県議会議員（3期）

（令和元年～ 新型コロナウイルス感染症の流行）

（令和3年2月13日 福島県沖地震発災）

（令和4年3月16日 福島県沖地震発災）

令和5年11月 福島県議会議員（4期）

令和7年4月 郡山市長（1期）

- ・ 4月27日 初登庁
- ・ 6月13日～7月2日 市議会6月定例会
- ・ 9月3日～10月1日 市議会9月定例会

福島県議会議員時代



災害現場で聞いた市民の「声なき声」を政策につなげたい



今後も一貫して「市民目線」と「現場主義」の政治を貫いてまいります

市政運営がスタート！

市長就任から約200日



MAYOR'S OFFICE
市長の部屋



4月27日 初登庁！



シティーマラソン



多数の表敬訪問・行事へのお誘い・御寄附など

本当にありがとうございます。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

<私の行政運営における信条>

- 「誠実さ」と「粘り強さ」を大切に
- 市職員の知恵を活かすボトムアップ型の運営を
- わかりやすく・親しみやすい情報発信を

今後も、市政発展のため、積極的に行事に参加・トップセールスしてまいります。



椎根健雄の
市長コラム

宝来屋 ポンズアリーナ
椎根市長が知事を案内

「猪苗代湖」
2025年7月15日 ラムサール条約登録！



市政運営と政策・補正予算

市政運営の3つの柱

高市首相
所信表明

国の動向

「地域未来戦略」の推進

- ・ 地方の活力は、日本の活力である
- ・ 地方が持つ伸び代を活かし、地域ごとに産業クラスターを形成する

基本的考え

合 致

市政運営の3つの柱

相互補完する3つの柱

- 1 選ばれるまち
- 2 暮らしの充実・笑顔になれるまち
- 3 経済の活性化

持続可能な郡山の未来を築いていく基盤⁶

1 選ばれるまち

「郡山らしさ」にさらに磨きをかける



「猪苗代湖」

2025年7月15日 ラムサール条約登録！

開拓者精神

陸の港

中核市

経済県都

音楽都市(楽都)

連携中枢都市圏

SDGs未来都市

セーフコミュニティ

J R 郡山駅西口の交通混雑対策

郡山駅西口ロータリーの改修等をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

→詳細においては、この後に説明します。

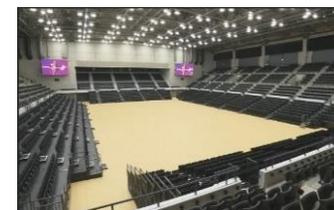


2 暮らしの充実・笑顔になれるまち

市民の皆様一人ひとりが安心した暮らしを営めること



- 暮らしに豊かさと活力を与える
文化・芸術・音楽・スポーツの振興
・開成山体育施設リニューアル
・地元トップスポーツチームとの連携



宝来屋ボンズアリーナ

- ファミリーが住みやすいまち
・保健・教育・医療の連携強化
・学童保育の充実
→家庭の多様なニーズに応える



こども食堂の活動

防災・減災への備え ～命を守るインフラの整備～

○気象災害への備え



準用河川の河道掘削工事



市独自に雨量計を設置

○避難所の機能拡充



ワンタッチパーティションの整備



気化熱冷風機の設置

3 経済の活性化

持続可能な地域経済の発展を目指して



- 経済県都の強みを活かす政策を
- 地元企業の成長支援、新たな企業誘致を

健康医療先進都市のブランディング

農商工等連携による
販路拡大も

福島県は国内屈指の「医療機器生産県」!



医療用機械器具の
部品等出荷金額
(2021) 全国 第**1**位

医療機器
生産金額
(2022) 全国 第**3**位



ふくしま医療機器開発支援センター

月例市長記者会見 を開きました



主な内容

- ◆令和7年度郡山市教育委員会表彰の受賞者について
- ◆郡山駅西口の混雑解消に向けた交通社会実験について
- ◆寄附（ふるさと納税）を財源とする大学への支援について

I 地域の課題解決

渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施	6,000万円
デジタル新技術を活用した舗装点検を実施	617万円
東部地区でデマンド型交通導入の社会実験を実施	507万円

II 子育て・教育・保健福祉・物価高騰対策

放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設	92万円
AIを活用した相談内容要約システムの導入	755万円
若い世代の結婚新生活を応援	4,302万円
遠方での妊婦健診等の交通費を支援	852万円
中学校給食センターを集約化・新設	※ 141億3,208万円
国民健康保険税率等の本算定を実施	3億7,574万円

III 経済・雇用創出・地域創生

農商工等連携による販路拡大	194万円
KORIYAMA発スタートアップをサポート	457万円
事業者の省力化投資と脱炭素経営をサポート	400万円
企業誘致及び立地企業の事業拡大を推進	582万円
日本遺産「一本の水路」RPGアプリの制作	※ 458万円
郡山ユラックス熱海長寿命化対策の実施	1,786万円

IV まちづくり

こおりやま広域圏の魅力向上策促進	870万円
LINE連携で図書館サービス向上	29万円
旧豊田貯水池の利活用を推進	802万円

V 防災・都市力の強化

愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施	3億2,466万円
消防団の活動拠点の充実	239万円



【中学校給食センター整備事業】



【海外販路開拓】

6月補正予算

※債務負担行為

新 渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施

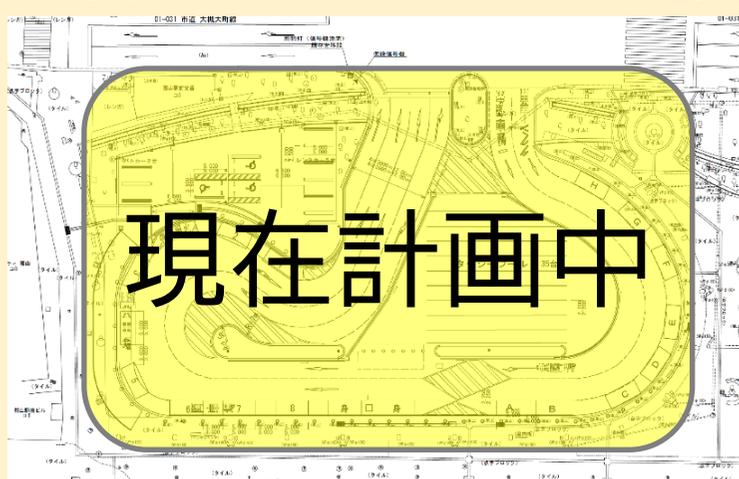
～駅前広場施設改修事業費の一部～



6,000万円

財源区分：単独

郡山駅西口ロータリーの改修をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

	短期対策	中期対策	長期対策
対策	<p>社会実験</p> <p>一般車の待機場所を設置</p> <p>↓</p> <p>中・長期対策へ反映</p> <p>令和7年度社会実験活用箇所(案)</p> <p>①タクシープール ②郡山駅西口駐車場 ③郡山駅周辺の市道の路肩</p>	<p>郡山駅西口ロータリーの改修</p> <p>一般車ゾーンとタクシーゾーンの分離等</p>  <p>現在計画中</p>	<p>郡山駅周辺全体の渋滞対策</p> <p>西口、東口周辺全体において対策を実施</p>  <p>一方通行道路の区分変更等</p> <p>歩行者</p> <p>タクシー乗降</p> <p>一般車乗降</p> <p>自由通路</p> <p>駅前大通り</p> <p>日の出通り</p> <p>路線バスルートの変更</p> <p>バス</p> <p>駅空間</p> <p>東口への誘導</p> <p>待機、乗降スペースの確保</p>
令和7年度		<ul style="list-style-type: none"> ○基本設計：一般車及びタクシーゾーンの位置や進入ルート等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想：改善すべき箇所を検討 ○交通量調査 ○交通量予測
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ○実証実験等 	<ul style="list-style-type: none"> ○実施設計：改修工事に向けた詳細な設計 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本計画：基本構想を実行するための具体的な方法等を検討 ○補足調査
令和9年度		<ul style="list-style-type: none"> ○改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○対策の実施：路線バスルートの変更、一方通行区分変更等 <p>6月補正予算</p>

交通社会実験の概要

【乗降場位置図】

実験場所\月日	11月10日	11月17日	11月23日	11月30日
①郡山駅西口ロータリー	■	■		
②郡山駅西口駐車場（市営）	■	■		
③郡山駅東口周辺の市道			■	■

【概要】
特に混み合う16時から21時の時間帯に臨時的乗降場を設け、西口ロータリーの混雑解消に向け、駅西口周辺の3箇所において、臨時的乗降場を設置し、混雑緩和への効果などを把握するため、アンケート調査等を行います。

実験場所① 郡山駅西口ロータリー

【概要】 タクシー待機レーンの一部を臨時的乗降場にします。

乗降場を設けることによる効果を確認

日時：11月10日(月)～23日(祝)16:00～21:00

実験場所② 郡山駅西口駐車場（市営）

【概要】 駐車場に空きがある場合は、臨時的乗降場として利用します。

駐車場の距離と利用率の関係性を確認

日時：11月10日(月)～23日(祝)16:00～21:00

実験場所③ 郡山駅東口周辺の市道

【概要】 市道の路肩の一部を臨時的乗降場にします。

交通需要の分散利用を確認

日時：11月17日(月)～30日(日)16:00～21:00

社会実験の内容

概要

■ デマンド型交通により、自宅から指定目的地まで“乗り合い”で移動

デマンド型交通の運行地区

←

【1日2往復】
予約に応じて運行



→

指定目的地

東部地区

郡山駅周辺

※朝夕は利用者数を鑑み、路線バスでの運行を継続します

運行便

行	乗車のみ		降車のみ		
	出発地	目的地	到着時間	目的地	到着時間
1便	東部地区	星総合病院	10:00	郡山駅東口	10:05
2便		ベニマル横塚店	14:00		14:05

帰	乗車のみ				降車のみ
	出発地	出発時間	出発地	出発時間	目的地
3便	郡山駅東口	11:00	星総合病院	11:05	東部地区
4便		15:00	ベニマル横塚店	15:05	

対象者 誰でも利用可

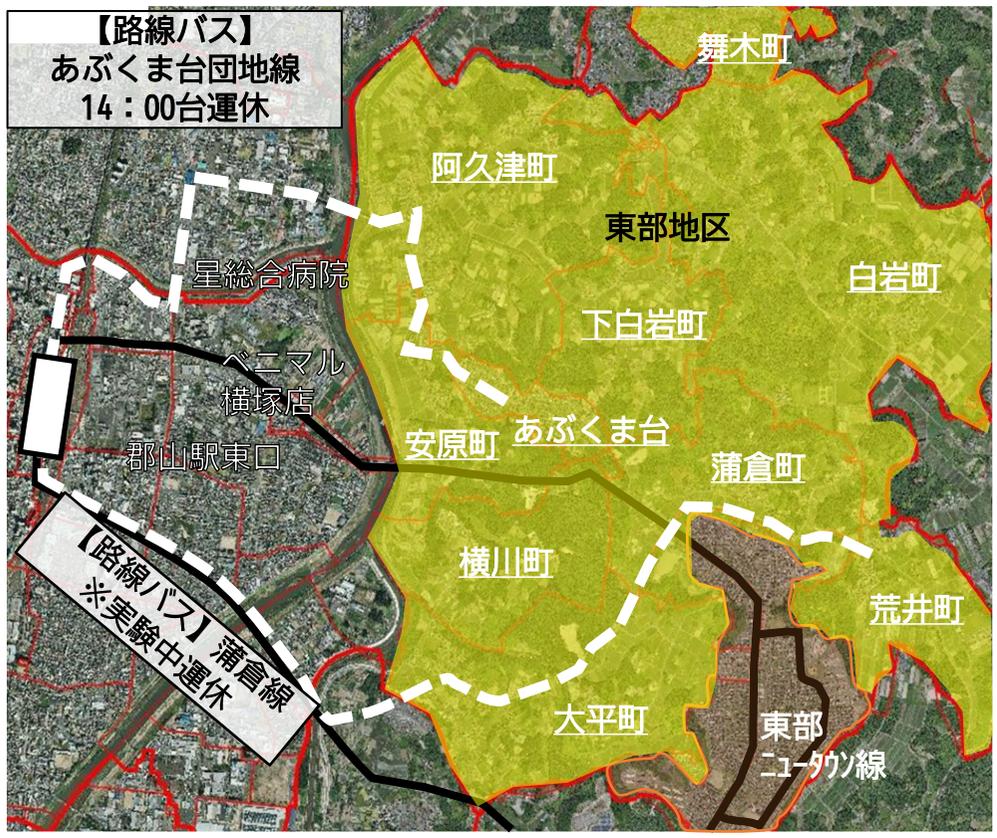
予約 電話・システム(PC、スマートフォン)による事前予約制
 ■受付締切 ○1・3便→利用日前日17:00 ○2・4便→利用日当日12:00

運行期間 12月1日(月)～1月31日(土)
 ※1月1日・1月2日は正月ダイヤのため運休予定

運賃(人/回)
 ■大人:500円 ■障がい者・高校生以下:250円
 ■乳児(1歳未満):無料
 ■幼児(未就学児):2人までは無料 3人目以降は250円/人

活用車両 トヨタ:ハイエース(1台) 定員:12名(乗務員1名を含む)

運行地区



運行事業者

福島交通株式会社



新 放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設



92万円

～放課後児童クラブ指定管理費・放課後児童クラブ施設整備費～

財源区分：補助 国1/3、県1/3

小学校高学年生について、特に日中過ごす時間の長い夏季休業期間の居場所を懸念する保護者の声があることから、夏休み限定の児童クラブを試行的に開設します。

開設場所

行健小学校（既存教室を夏季のみ利用）

○待機児童数が最も多い行健小学校に設置し、近隣の小学校の児童も受け入れます。



募集人数

35名（行健・行健第二・日和田小学校の児童対象）

開設期間

夏季休業期間（7月21日から8月24日まで）

○日曜・祝日・お盆期間（8/13～16）を除く

運営

指定管理者

予算額

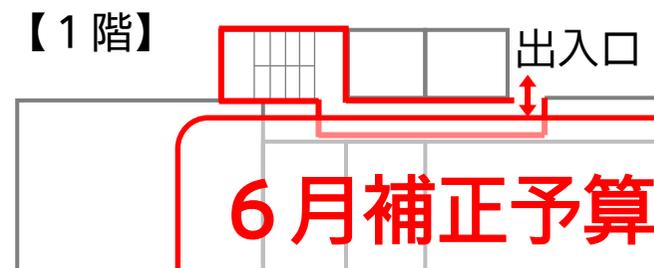
91万7千円

(内訳) 指定管理料 77万4千円
施設整備（備品リース及び消耗品購入） 14万3千円

開設場所平面図



↑
既存教室を利用



新 0歳児を養育する方へ給付金を支給

1億632万円

～0歳児養育支援給付金給付事業～

財源区分：重点支援地方交付金、一般財源

郡山市は、ベビーファースト推進の一環として、「こどもが安心して生まれ、育つまち郡山の実現」を目指し、物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活支援（光熱水費等）として、令和7年度に出生した新生児1人当たり5万円を支給します。

1 対象者

対象者 要件	令和7年4月1日～令和8年3月31日までに生まれた子を養育する市民
対象者数	約1,800人

3 予算内訳

- ・扶助費 9,000万円（一人当たり5万円×1,800人）
- ・事務費 1,632万円（システム運用、郵便代等）

2 給付内容・方法

申請 及び 給付方法	申請不要・・・プッシュ支給 <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日時点で郡山市から児童手当を受給している方 ⇒ 児童手当の受給口座に振込み
	申請が必要・・・受付後、速やかに給付 <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日時点で郡山市から児童手当を受給していない方 (転入者、出生者、公務員等) ⇒ 申請のあった口座に振込み
	【申請方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・出生届時に窓口で申請 ・申請書等を対象者に郵送し、郵送申請

4 給付スケジュール

令和7年 9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
プッシュ支給 (9月)						
	★					
	申請受付開始				申請受付分の給付 (以降、随時速やかに支払)	
						受付終了(4月末)

6月補正予算

I 選ばれるまち

○「ペップキッズこおりやま」にWEB予約システムを導入	250万円
○効果的な企業誘致に向けた動向調査を実施	150万円
○「選ばれるまち・こおりやま」レポートの作成	66万円
○ラムサール条約登録、次の一步を	122万円
○公立保育所の児童の安全対策	130万円



【ラムサール条約登録証授与】

II 新たな行政課題や需要への対応

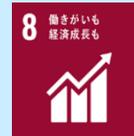
○高齢者施設の防災・減災対策を推進	3,021万円
○東山悠苑 冬期の火葬対応件数を拡充	209万円
○トマト黄化葉巻病への緊急対策	540万円
○安全で円滑な道路環境の整備・改善	1億9,900万円



9月補正予算

【舗装完了後の市道】

新 効果的な企業誘致に向けた動向調査を実施



150万円

～企業誘致活動事業～

財源区分：単独

若年層の流出防止や移住・定住促進につながる企業誘致を効果的に進めるため、首都圏企業等を対象とした投資動向調査を実施します。

概要

目的：調査をもとに、効果的な誘致施策を展開し、若年層が就職先として希望する企業の誘致につなげる。

対象：若年層が就職先として希望する首都圏等企業

内容：対象業種の企業に、首都圏以外への進出可能性や、進出にあたっての条件等を調査する。

スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月
	契約		調査実施・分析		

調査イメージ

【若年層の就職動向分析】



就職活動の際に重視する要素や希望する業種などについて分析

【調査対象企業抽出】



ターゲット業種を絞り、対象企業を抽出

【アンケート調査】



対象企業にアンケート調査

【結果分析】



9月補正予算
結果を分析し、施策を検討



66万円

新 「選ばれるまち・こおりやま」 レポートの作成

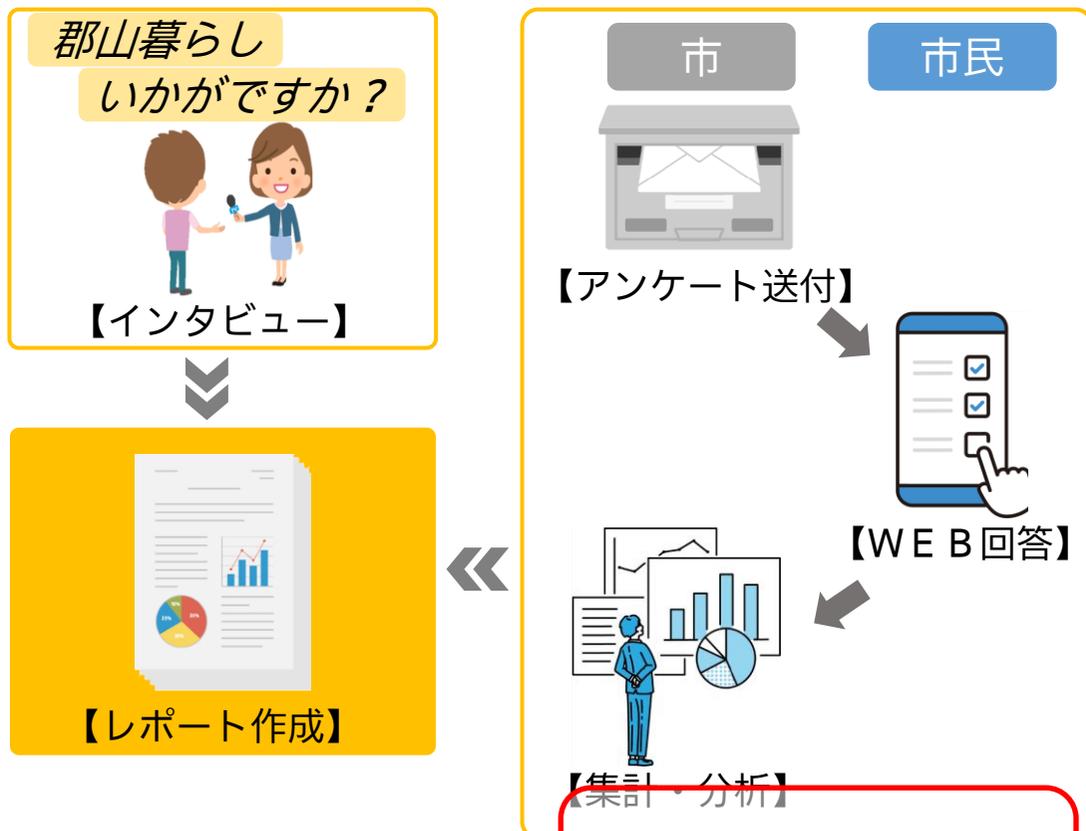
～移住・定住促進事業～

財源区分：単独

本市に転入した市民に対し、生活実感等に関するインタビューやアンケートを実施し、今後の移住定住政策の更なる充実に繋がります。

概要

- ◆目的
 - ✓ 転入（移住）者の“声”を今後の移住定住施策に反映
- ◆対象者
 - ✓ 令和4年度以降に転入した市民
- ◆内容
 - ✓ インタビュー・アンケート調査（居住継続意志・転入理由・満足度等）
 - ✓ まちの魅力・優位性や課題の把握
- ◆効果
 - ✓ 転入後の定着支援、転出リスクの予見、移住定住の促進



スケジュール

10月	11月	12月	1月	2月
設問設計	アンケート発送 ～WEB回答	集計・分析 事業企画に反映		レポート作成

9月補正予算

進んでます 郡山市のDX

① デジタル新技術を活用した舗装点検を実施



617万円

～道路ストック整備事業～

財源区分：単独

従来の人手中心の舗装点検からデジタル新技術を活用した舗装点検により作業を効率化し、適切な舗装の補修につなげることで、市民の安全・安心の確保を図ります。

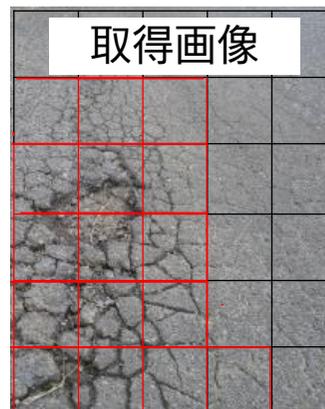
② 道路劣化診断システム 320万円

- 実施箇所
幹線道路、生活道路
- 実施内容
公用車にカメラ等を取り付け職員によりパトロールを実施し、損傷度をAI解析



③ 舗装定期点検 297万円

- 実施箇所
幹線道路
- 実施内容
点検業者へ委託し、専用車両によりひび割れ率をAI解析



新 AI を活用した相談内容要約システムの導入



755万円

～福祉まるごと支援事業～

財源区分：補助 国1/2

福祉分野の相談業務に相談内容要約システム（生成AI）を導入し、業務の効率化による更なる「市民サービスの向上」と職員の「働き方改革」を推進します。

1 導入の背景

- 市民からの相談対応において、複合的な課題を有する複雑化した相談（8050問題・ダブルケア等）が年々増加
- 相談後の相談記録作成に相当の時間と労力が必要

2 相談内容要約システムの内容と機能

① AIによる職員サポート

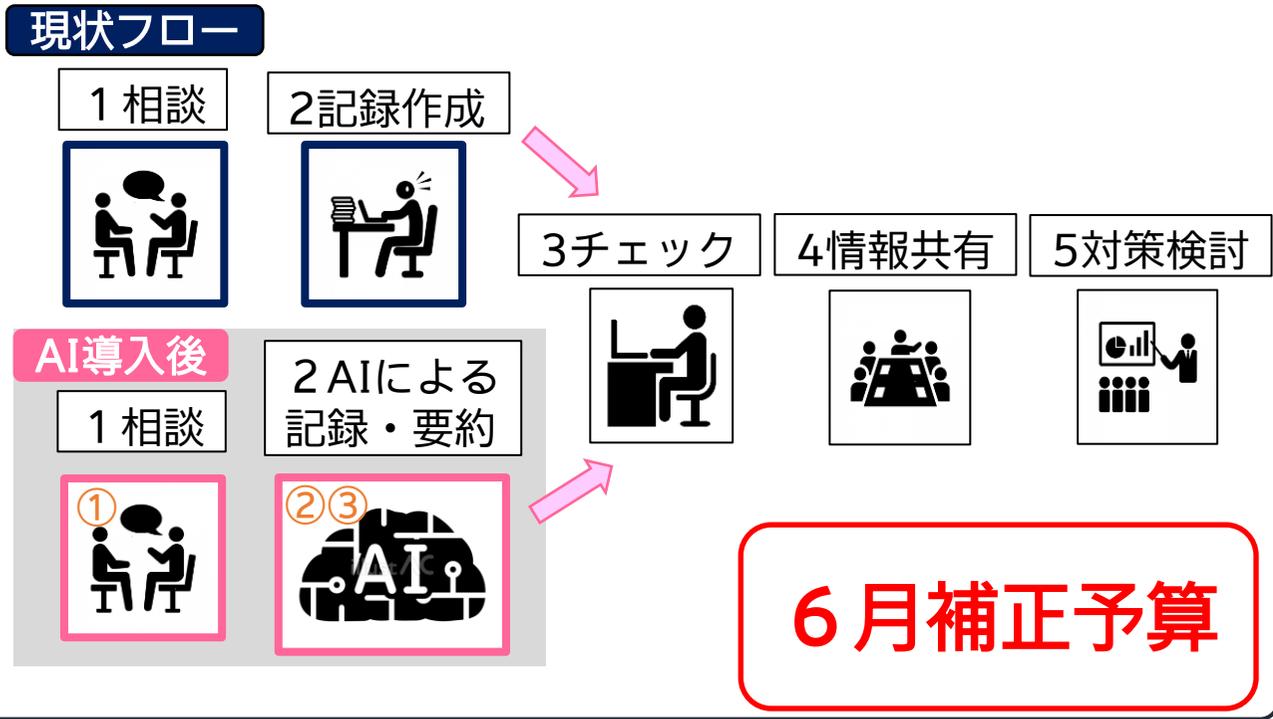
- ・職員が聞き取るポイントや相談者への支援策をAIが瞬時に表示し職員をサポート
- ・職員の知識量や経験差に関わらない相談体制を確立

② AIを活用した記録・高精度な要約

- ・相談時に相談内容をリアルタイムで記録
- ・記録作成に係る時間を大幅に縮減可能
- ・窓口(対面)のみでなく電話や外出時でも対応可能

③ AIを活用した記録の向上

- ・聞き漏れや記憶漏れを防ぎ全て記録



④ LINE 連携で図書館サービス向上

— 図書館情報システム更新に伴うサービス拡大 —
～奉仕活動事業～



29万円

財源区分：単独

令和7年10月からの「図書館情報システム」更新に合わせ、5つの新サービスを提供します。その一環として、SNSアプリ「LINE」と連携した新サービスを展開します。

5つのカイゼン

10月
スタート

- 1 貸出冊数を1人5冊から10冊に拡大
- 2 **県内初** マイナンバーカードでも貸出OK
- 3 図書館全13分館がオンライン化 (11月～)
- 4 DVD、CDが中央・地域館で受取/返却可能
- 5 **県内初** スマホひとつで貸出OK (LINE)

④

【9月はシステム更新・蔵書点検のため臨時休館します】

種類	休館日	備考
アサカ理研 郡山中央図書館	9/ 1(月)～	9/30 (火) まで  ご迷惑をおかけします。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
希望ヶ丘、安積、 富久山図書館	9/15(月)～	
分館(10館)	9/ 8(月)～	
電子図書館 (Web)	休まず、ご利用いただけます	

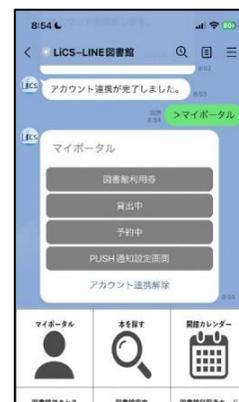
新機能

スマホひとつで完結！

【利用者向け機能を
LINE上に集結】

利用者バーコードを表示

貸出・予約一覧の確認



図書館公式アカウント

トップページに利用者
が必要な情報を集約



バーコード表示

バーコード表示で貸出
カードの読み込み不要



資料検索

LINEで検索が可能となり、
詳細はwebリンクへ

6月補正予算

LINE
活用の
メリット

- ① 図書貸出カードのデジタル化！
- ② 通知機能による情報発信(予約割当)を可能に！
- ③ LINEだから、幅広い年齢層の利便性向上へ寄与！
- ④ ペーパーレス化の促進(レシート、連絡ハガキ削減)

新 「ペップキッズこおりやま」に WEB 予約システムを導入

～元気な遊びのひろば事業～



250万円

財源区分：単独

ペップキッズこおりやま入場希望者の利便性及び混雑緩和のため、来年4月からのWEB予約システムの導入に向け準備を進めます。



対象施設

ペップキッズこおりやま（元気な遊びのひろば）
※年間20万人以上が利用

【ペップアクティブ】

- ・身体を動かす遊びの場
- ・1日あたり：4クール
- ・1クール：75分、上限250人 ※完全入替制

【ペップキッチン】

- ・食育を行う調理体験の場
- ・1日あたり：3クール
- ・1クール：60分、上限12人 ※完全予約制

運営受託者

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

予約イメージ



スケジュール

令和7年度						令和8年度
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
契約・システム構築						9月補正予算 周知期間 運用開始

都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



2025/7/3 都市構想部都市政策課

地区名	指定区域の数
東 部	8
大 槻	5
安 積	1
三穂田	10
逢 瀬	5
喜久田	3
日和田	5
富久山	5
熱 海	6
田 村	11
中 田	4
計	63



福島郡山LLタウンB棟新築工事竣工式 及び 災害支援協定締結式

2025/10/20



株式会社フクダ・アンド・パートナーズ 様、
ヤマトホールディングス株式会社 様、プロロジス 様、
NTT東日本株式会社 様と、本市の5者による災害支援協定を締結しました。

郡山西部第一工業団地にも、 新たに工場が…。 企業の皆様に感謝です



9月22日
ライオンフーズ株式会社 様
土地売買契約締結式
※県内初の製造拠点2028年4月の稼働予定



9月25日
ワボウ電子株式会社福島工場 様
新築工事地鎮祭

寄附(ふるさと納税)を財源とする大学への支援 ～「郡山市学びと絆寄附金」の受付を11月から開始～



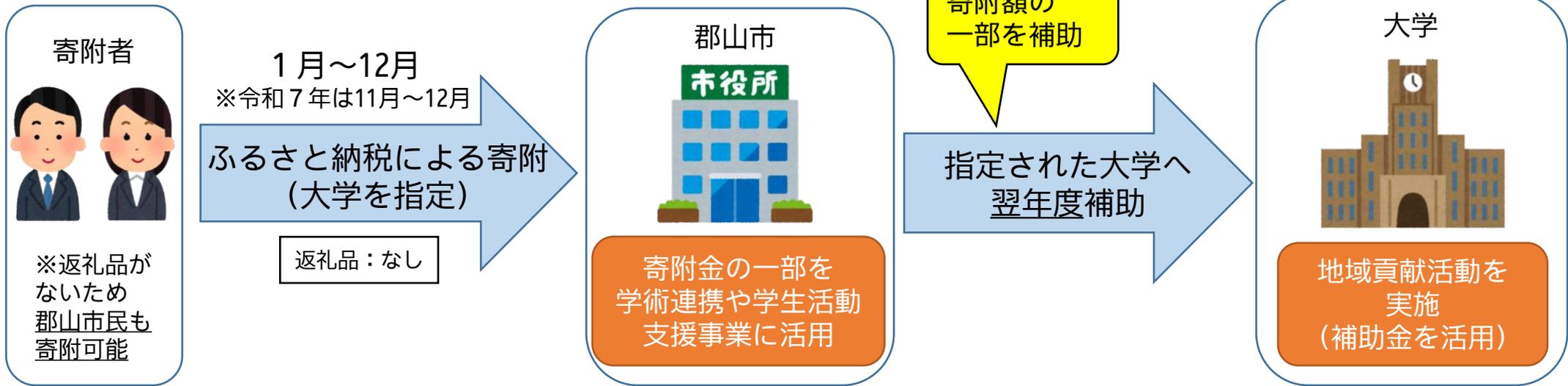
1 制度の概要

県内初

大学への安定的な教育研究活動への支援と地域課題解決の推進を図るため、ふるさと納税の制度を活用し、「大学の研究活動への補助制度」を新たに設けます。

この補助事業の原資とするため、ふるさと納税制度による寄附(郡山市学びと絆寄附金)の受付を令和7年11月1日から開始します。

2 制度のイメージ



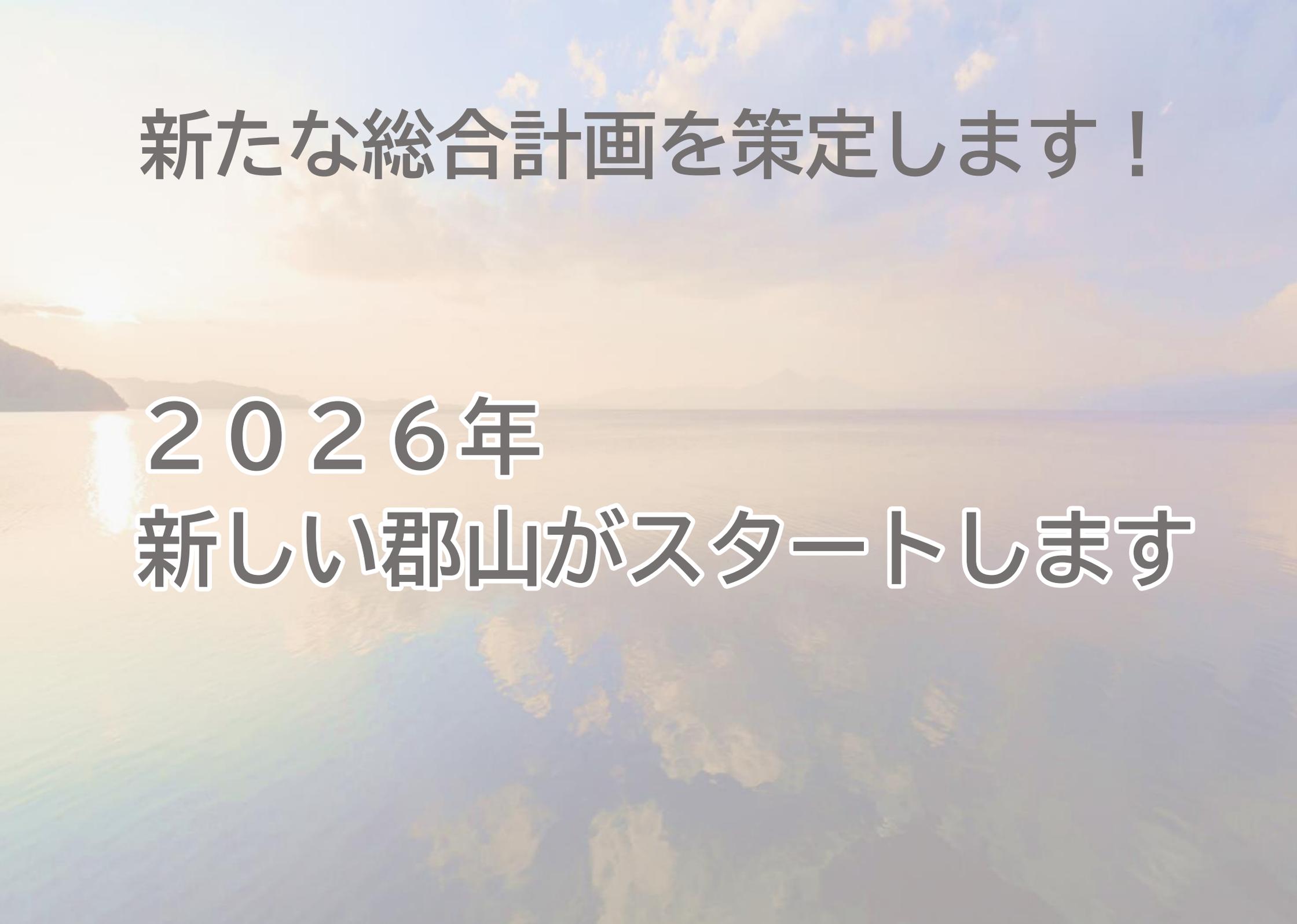
- **補助対象大学 (寄附対象大学)**
登録申請のあった市内の大学 (短大、大学院含む)
⇒日本大学工学部、郡山女子大学
- **補助対象事業**
 - ①本市又はこおりやま広域圏内 (本市を含む事業に限る。以下同じ) の地域課題解決につながる教育及び研究活動
 - ②本市又はこおりやま広域圏の住民を対象とした生涯学習事業
 - ③その他、本市又はこおりやま広域圏の地域活性化に資する公益的活動と認められる事業

(期待される効果)

寄附者	所得税や住民税の控除による税制優遇、大学支援
大学	財源の確保による教育環境の向上や研究活動の充実
郡山市	大学との連携強化、大学の充実による人口流入効果、新たな財源確保の一助

ひら 未来を拓く開拓者たち





新たな総合計画を策定します！

2026年

新しい郡山がスタートします

選ばれるまち こおりやま

～持続可能な郡山の未来に向けて～

